シンフォニア岩国
山口県民文化ホールいわくに

獺祭 Presents

日本センチュリー交響楽団
岩国特別演奏会

～世界へ届け　平和と希望の響き～

ヴェルディ：
歌劇「運命の力」序曲

ヴォーン・ウィリアムズ：
「グリーン・スリーヴス」による幻想曲

バーバー：
弦楽のためのアダージョ

リムスキー=コルサコフ：
スペイン奇想曲

ブラームス：
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調

2022.8.13（土）
15:00 開演（14:00開場）
シンフォニア岩国 コンサートホール

一　般
S席（特典付き）：5,000円（2,500円）/ A席：4,000円（2,000円）/ B席：3,000円（1,500円）

友の会
S席（特典付き）：4,500円 / A席：3,600円 / B席：2,700円

小中学生
一律：1,000円

※S席特典＜獺祭純米大吟醸磨き三割九分300ml＞プレゼント
※（ ）内は25歳以下の学生料金

チケット一般発売：6月10日（金）

シンフォニア岩国 TEL：0827-29-1600（受付時間10：00～19：00）

シンフォニア岩国のホームページでも購入可能
＊シンフォニア岩国のみの販売

購入方法▶

ヴァイオリン：中村 太地
©Ayane Shindo

指揮：飯森 範親
©山岸 伸

管弦楽：日本センチュリー交響楽団

※未就学児の入場不可 ※やむを得ず、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催：旭酒造株式會社／公益財団法人日本センチュリー交響楽団　共催：シンフォニア岩国 指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ
後援：山口県／山口県教育委員会／山口県文化連盟／岩国市／岩国市教育委員会／岩国市文化協会

お問い合わせ　シンフォニア岩国
〒740-0016 山口県岩国市三笠町 1-1-1
TEL 0827-29-1600（受付時間10：00～19：00）
FAX 0827-29-1609
https://sinfonia-iwakuni.com

獺祭 Presents 日本センチュリー交響楽団 岩国特別演奏会

～ 世界へ届け　平和と希望の響き ～

昨年の岩国特別演奏会の延期から約1年、山口が誇る世界的日本酒ブランド「獺祭」と、飯森範親首席指揮者率いる日本センチュリー交響楽団が、新たなテーマとともにお贈りするコンサート。イタリア、イギリス、アメリカ、ロシア、ドイツという世界中の作曲家たちのオーケストラの魅力が詰まった名曲を集めました。ソリストには北九州市出身・ブラームス国際コンクール覇者・中村太地。旭酒造160名の獺祭の蔵人を束ねる蔵長と同級生というご縁もあり、出演が決まりました。壮大なブラームスの協奏曲に期待です。特別な一日を会場でご一緒しましょう。

©山岸 伸

指揮：飯森 範親　日本センチュリー交響楽団首席指揮者
Norichika Iimori / Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年、東京交響楽団のヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を受賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルの音楽総監督（GMD）に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。06年の日本ツアーを成功に導き、2017年5月にはミュンヘンのヘルクレスザールを始めドイツ国内のツアーにて指揮。同年9月にはポーランドのオルシティン・フィルのシーズン開幕を指揮し成功を収めている。いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。07年から山形交響楽団の音楽監督に就任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚しい成果を挙げたことで2011年齋藤茂吉文化賞を受賞。現在、パシフィック フィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2023年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任予定。2020年10月、新国立劇場のシーズンオープニング公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。
オフィシャル・ホームページ http://iimori-norichika.com/

©Ayane Shindo

ヴァイオリン：中村 太地　Daichi Nakamura / Violin

3歳でヴァイオリンを始める。福岡県立小倉高等学校卒業後ウィーンへ渡り、ウィーン国立音楽大学でM.フリッシェンシュラーガーに師事。さらにベルギーのエリザベート王妃音楽大学でA.デュメイに師事する。2004年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール、12年ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、14年クライスラー国際コンクール、16年ロドルフォ・リピツァー国際コンクールなど、権威ある国際コンクールで多数入賞及び特別賞受賞。2017年、第24回ブラームス国際コンクールで日本人初の優勝を果たす。20歳の時にソフィアフィルハーモニー管弦楽団との共演でヨーロッパ・デビュー。以来、ヨーロッパと日本を中心に演奏活動を行い、これまでに九州交響楽団、セントラル愛知交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、クラーゲンフルトフィルハーモニー管弦楽団、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団、ルヴィウフィルハーモニー管弦楽団などのオーケストラと共演。また、サントリーホール、ザ・シンフォニーホール、響ホールをはじめとするホールでリサイタルを行っている。2019年ビクターエンタテイメントよりデビューアルバム「ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ集」(ピアノ:江口玲)をリリース。使用楽器は1738年製グァルネリ・デル・ジェス“ソフィー・ハース”(北山コーポレーション・北山英樹氏より貸与)。2021年より北九州市文化大使に就任。2022年,(公財)青山音楽財団より辻本玲氏(チェロ) と佐藤卓史氏(ピアノ)で結成しているトリオでの活動が評価されてバロックザール賞を受賞。

管弦楽：日本センチュリー交響楽団　街に響く。心に届く。
Japan Century Symphony Orchestra / Orchestra

©Masaharu Eguchi

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する（2015年度、2018年度）など、演奏活動は高い評価を得ている。
オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」（豊中市）、「ルシオール街かどコンサート」（滋賀県守山市）等の地域連携事業にも力を入れている。
「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念をもとに、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとしての発展を目指し活動している。
オフィシャル・ホームページ　https://www.century-orchestra.jp/

シンフォニア岩国
山口県民文化ホールいわくに
TEL.0827-29-1600　FAX.0827-29-1609
〒740-0016　山口県岩国市三笠町1-1-1
https://sinfonia-iwakuni.com

■JR岩国駅から南へ約800m（徒歩約10分）※JR広島駅からJR岩国駅まで約50分
■三笠橋バス停から徒歩約5分
■山陽自動車道　岩国ICから車で約25分
■JR山陽新幹線　新岩国駅から車で約30分
■岩国錦帯橋空港から車(バス)で約5分　※搭乗・到着に合わせてバスがあります。
※駐車スペースに限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
満車の場合は近隣の有料駐車場をご案内いたします。